

2023年3月15日

## CDP から環境対応の3分野で最高評価を獲得 「Supplier Engagement Leader 2022」に選定

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：木村和正）は、CDPによる「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価である「Supplier Engagement Leader 2022」に選定されました。既にCDPによる「気候変動」および「水」分野でも2022年度「Aリスト」に選定されており、環境対応3分野で2019年以降4年連続で最高評価を獲得したことになります。

当社では、「経営マテリアリティ」の中でも財務インパクトの大きいカーボンフリーへの取り組みを重要な項目と位置付けて、環境負荷の低減に向けた幅広い環境マネジメントを推進しています。

各生産拠点では、高効率設備の導入や最新の環境対応型の工場建屋の新築・建て替え等による省エネ活動に加え、太陽光発電をはじめとする様々な創エネ活動も進めています。また、サプライチェーン上の気候変動リスクへの対応も重要な課題と認識しており、サプライヤーへのCO<sub>2</sub>削減手法の共有や自主削減目標の設定支援など、サプライチェーン全体での環境マネジメントにも積極的に取り組んでいます。

今後もナブテスコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会の諸課題の解決に貢献してまいります。

以上



(参考)

\*CDP：運用資産総額 130 兆米ドルに達する世界の 680 以上の機関投資家を代表し、企業の環境に関する取り組みの情報を収集、評価する国際 NGO。2022 年には、世界の時価総額の約半分に相当する 18,700 社以上の企業が、CDP を通じて環境情報を公開している。